

CASBEE とっとり

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グンゼ開発倉吉商業施設新築工事	階数	地上1F
建設地	鳥取県倉吉市福吉町1365番1	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	物品販売	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年3月 予定	評価の実施日	2010年11月19日
敷地面積	10,339 m ²	作成者	落岩 勇治
建築面積	3,952 m ²	確認日	2010年11月24日
延床面積	3,652 m ²	確認者	下田 誠



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 大項目の評価(レーダーチャート)	2-3 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート
<p>BEE = 1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>		<p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.1
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.2 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項	
総合 大きな建物がない為、近隣住宅へ圧迫感の少ない配置としました。場内走行円滑化のため、十分な車路幅を確保し、無駄なアイドリング音や走行音の減少を図りました。また、騒音予測から室外機置場の位置を決定しました。	その他 工事中に於ける分別仕分け作業。敷地外清掃活動。
Q1 室内環境 空調のゾーニングがなされており、さらにゾーン別に冷房・暖房の選択が可能な空調システムとしている。	Q2 サービス性能 余裕を持って配置できるように室内の大きさ(床面積・天井高)を十分確保し、広さ感、開放感を得られるようにした。
LR1 エネルギー 照明、空調において効率的な機器を選定することにより省エネ法による性能基準を判断基準値より下げた。	LR2 資源・マテリアル 資源の再利用効率の向上。
LR3 敷地外環境 利用者が多く見込まれることから、近隣の交通負荷の抑制として敷地内に駐車場及び駐輪場を確保している。	

4 重点項目		
重点項目	得点	取組み度
県産材利用の推進	点 / 10点	
鳥取県認定グリーン商品利用の推進	点 / 25点	
自然エネルギー変換利用の推進	点 / 25点	
敷地内緑化の推進	10点 / 25点	
合計	10点 / 85点	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと